

「徳永式自動待ち箱巣箱」で日本蜜蜂をつかまえてみませんか

この巣箱は巣分れ、または逃去したミツバチが自然に入って巣礎にもる巣箱です。また人工的にこの巣箱に蜂を入れても定着抜群！・・・爆発的人気！

《徳永式自動待ち箱巣箱》

すそ 巣礎にもったところ

実用新案登録（登録第3120954号【日本蜜蜂用巣礎】）

この巣箱は巣枠に巣礎（蜜蝋100%）を張った物で蜂が好む巣箱に完成された巣箱です。
価格 3万円
（送料・税込・代引）



何回も使用した古い巣箱（蜂蜜や蜜蝋が付いたもの）のほうがはいい

【つかまえる方法】

分封の20日前くらいに「徳永式自動待ち箱巣箱」を畑の上や横、石垣の上・大木横・街場では、二階のベランダなどに終秋まで設置すると効果的。（南では分封は3月の末頃から始まる）

《特徴》

- ① 巣礎がある事によって巣作りが早いし蜜が多く取れる。
- ② 移動が簡単・巣枠式なので振動を与えても巣が落ちない。
- ③ 人工分封が出来る。
- ④ 合同（女王蜂が居ると居ないのを合わせる）をする事が出来る。
- ⑤ 蜂が増えれば巣礎を巣枠に貼ったものを追加できる。
- ⑥ 7枚箱から10枚箱に移し換え出来、二段三段と増やせる事が出来る。
- ⑦ 餌やりが簡単で餌を巣箱に入れるので盗蜜に合いにくい。
- ⑧ 女王蜂や王台また産卵の確認が出来る。